

17:45-17:50 開会挨拶 桐野 文良 (東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室長)

一第1部 講演会

17:50-18:05 「文化遺産マネジメントの視点からみた考古とアートの展開」

原田 怜 (東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室)

研究テーマは国際協力としての文化遺産マネジメント。東京文化財研究所アソシエイトフェローを経て、2014年より JICA 大エジプト博物館保存修復センタープロジェクトの専門家(保存修復研修計画)としてエジプトにて勤務。2016年より現職。大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトの他、エジプトのカイロ歴史都市やバハレーンの遺跡において、文化遺産マネジメントに関する研究と実践を行う。

18:05-18:20 「遺跡へのまなざしーアーケオロジーとアートが語る過去」

岡田 真弓 (北海道大学創成研究機構)

研究テーマはパブリック考古学、文化遺産研究。北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員を経て、2015年より現職。文化遺産のなかでも特に考古学に関するモノ・コトが、現代社会でどのように受容され、活用されているのかに着目し、北海道やイスラエル・パレスチナなどでフィールドワークを通じた研究を行っている。

18:20-18:35 「文化遺産と創作表現活動

ー遺跡・遺物・考古学との新しいかかわり方の模索」

安芸 早穂子 (考古学復元イメージ画家、アーティスト)

考古学の成果を、研究者とともに復元イメージ化する専門家。博物館・教科書・歴史系メディア等 仕事多数。各地遺跡で展覧会、ワークショップをプロデュースする傍ら、Kyoto Art& Archaeology Forum 等で、研究者とアーティストをつなぐ文化財活用を試行、実践している。京都市立芸術大学日本画科卒、NPO 三内丸山縄文発信の会理事。

18:35-18:50 質疑応答

一第2部 座談会

19:00-19:30 「文化遺産分野におけるキャリア形成について」

19:40-19:45 閉会挨拶 木島 隆康 (東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室教授)



原田 怜



岡田 真弓



安芸 早穂子

女性アーティスト・研究者のキャリア形成支援に繋がる教育研究プロジェクト 文化遺産国際協力インターシップ事業

考古とアート



ー文化遺産と人とのコミュニケーション

主催：東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室

遺跡が文化遺産として認識され、価値を持つことにはどのような課題とプロセスが考えられるのでしょうか。

本講演では、文化遺産と人との繋ぐコミュニケーションとしてのアートに着目します。

第1部では、考古学者、アーティスト、文化遺産マネジメント専門家がそれぞれの立場から、アートを介したコミュニケーションのあり方についての考えを述べます。

第2部では、文化遺産分野で活躍を目指す若手が、どのようにビジョンを持ちキャリアを形成していくかについて、講演者を囲んだ座談会を行います。



- ・JR上野駅(公園口)より徒歩13分、JR鶯谷駅(南口)より徒歩15分
- ・京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分

2017年6月26日 [月]

17:45 開会 (17:30 開場)

場所：東京藝術大学美術学部構内 大浦食堂
入場無料・申込不要 定員 30名

お問合せ先：東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室
Tel :050-5525-2129 mail: harada.rei@fa.geidai.ac.jp

STAFF

- 司会：石田 千香子 (ダイバーシティプログラムインターン)
- 広報：田島 さか恵 (東京藝術大学美術学部国際文化財修復プロジェクト室)
- ロジ：室伏 麻衣 (ダイバーシティプログラムインターン)

助成：東京藝術大学ダイバーシティ推進室 文部科学省 科学技術人材育成費補助事業

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」